

評価の見直しについて

参考資料②

効果的に本計画を進めていくため、各室課が事業を評価する際の評価ルールを下図のとおり定め、明確にする見直しを行いました。

【主な変更点】

- ①年度当初目標達成の有無や前年度実績との比較結果により施策の進捗度や今後の方向性を決めました。
- ②新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため事業を中止した場合、昨年度の進捗度評価は「3.現状維持」でしたが、今年度は「4.進まなかった」に変更しました。

【評価ルール図】

事業実施状況	事業実施度	活動指標の有無	年度当初目標	前年度実績と比較	活動指標名	事業の内容	施策の進捗度	今後の方向性
実施した	1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた (男女共同参画が目的の講座や研修など) 2.男女共同参画の視点をおおむねもちながら取り組むことができた (主な目的は他にあるが、男女共同参画の視点も入っている講座や研修など)	活動指標あり	達成				1.進んだ	1.強化・充実 or 2.継続
			未達成	前年より上昇			2.やや進んだ	1.強化・充実 or 3.改善・見直し
				前年と同じ			3.現状維持	3.改善・見直し
				前年より減少	今年度の活動に関する指標 (参加人数や開催回数など) これまでの成果に関する指標 (女性の割合や団体数など)		3.現状維持	3.改善・見直し
	3.男女共同参画の視点を弱く反映させるしか取り組むことができなかった	活動指標なし				前年より前進	1.進んだ (おおきな成果)	1.強化・充実 or 2.継続
						前年よりやや前進	2.やや進んだ (改善・見直しの余地あり)	1.強化・充実 or 2.継続 or 3.改善・見直し
					前年と同じ	3.現状維持	1.強化・充実 or 2.継続 or 3.改善・見直し	
実施していない	4.実施していない						4.進まなかった	3.改善・見直し
	5.予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症防止のため実施できなかった						4.進まなかった	2.継続

4.縮小・5.廃止
(代替の新事業がある場合、事業終了年度を定めている場合、目的が達成され後退するおそれがない場合など、特段の事情がある場合)